

MAY

TEMPLE'S SCHEDULE

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1 10AM Tai Chi 1:30PM Buyo	2 7PM Education Class(J) Buyo 8PM Bon Dance	3
4 Shosanshiki Shotsuki 10:30AM Kids 10:45AM Japanese 11:00AM English Camp Lumbini Bake Sale	5 10AM Karaoke	6 7PM Education Class(E) Buyo 8PM Bon Dance	7 7PM Taiko	8 10AM Tai Chi 1:30PM Buyo	9 7PM Education Class(J) Buyo 8PM Bon Dance	10
11 10:30AM Kids 11:00AM Service	12 10AM Karaoke	13 1PM Momiji West 7PM Education Class(E) Buyo 8PM Bon Dance	14 7PM Taiko	15 10AM Tai Chi 1:30PM Buyo	16 7PM Education Class(J) Buyo	17
18 10:30AM Kids 11:00AM Gotan-E	19 10AM Karaoke	20 7PM Education Class(E) Buyo 8PM Bon Dance	21 7PM Taiko	22 10AM Tai Chi 1:30PM Buyo	23 7PM Education Class(J) Buyo	24
25 10:30AM Kids 11:00AM Keiroukai	26 10AM Karaoke	27 1PM Momiji West 7PM Education Class(E) Buyo 8PM Bon Dance	28 7PM Taiko	29 10AM Tai Chi 1:30PM Buyo	30 7PM Education Class(J) Buyo 8PM Bon Dance	31

降誕会のお知らせ

浄土真宗の宗祖・親鸞聖人は、一一七三年五月二十一日に京都でお生まれになりました。このたび、五月十八日(日) 午前十一時より、親鸞聖人のご誕生をお祝いする「降誕会法要」をお勤めいたします。

私たちに念仏の教えを伝えてくださった親鸞聖人のご誕生に感謝し、そのご生涯に思いを馳せながら、共に仏法を聴聞するひとときを持ちましょう。

敬老会のお知らせ

敬老会は、長寿を迎えられた方々を敬い、感謝の心を込めてお祝いする集いです。

浄土真宗では、長生きそのものを「良いこと」「悪いこと」と単純には捉えません。

阿弥陀如来は、どんな人も、どんな年齢であつても、「そのままのあなたを救いたい」と願ってくださる仏さまです。

だからこそ、長寿を迎えた方々の歩みは、単なる「年数の積み重ね」ではなく、仏さまの願いに生かされ続けてきた尊い証でもあります。

日時…五月二十五日(日) 午前十一時から

英語版のニュースレターに申込用紙がございます。申込期限が早くなっておりますのでお気を付けください。

キャンプ・ルンビニ 2025

8歳から15歳のユースを募集しています！

この夏、7月27日(日)～8月2日(土) 仏教キャンプに参加しませんか？

若者の絆を深める楽しい体験！

1週間のアクティビティを通して仏教のテーマを実践。

ワサガ・ビーチのお寺のコテージで行われる仏教キャンプ。

16歳以上の青少年がカウンセラーとなり、

ボランティア時間を受けることができます。

8月1日(金)には8歳未満のお子様も1日キャンプに参加できます。

詳細はアバゲイル・カタオカまで

abagail-kataoka@hotmail.com



モミジ シニア アクティブ リビング センター… 西部にオープン!!

モミジ ヘルスケア協会は、トロント西部でシニア アクティブ リビング センターのプログラムを開始しました。

この度、日系カナダ人レガシー協会のコミュニティー基金、及びその他の方々からのご寛大なご寄付により、私たちは従来のトロント東部以外にもそのサービスを拡大することができることになりました。 **ノース ヨークでは、トロント仏教会が会場になります。**運動、クラフト、健康・教育講座など、内容は色々です。また、皆でお茶を飲みながらおしゃべりを楽しむ時間もあります！

5月アクティビティの日

5月13日と27日 1:00

詳細やご質問は、モミジ ウェスト コーディネーターの「ベン・レビー」まで遠慮なくご連絡を下さい。連絡先は、電話：416-407-0142 またはメール：momijiwest@momiji.on.ca です。

開教使不在のお知らせ

五月三十日には西本願寺にて開教使の辞令交付ならびにご門主さまとの面接が予定されているため、五月二十一日～三十一日まで出張でトロントから離れます。また、今年は戦後八十年ということもありますので、広島にある浄土真宗寺院をいくつか訪問し、色々とお話を聞かせていただく予定です。

トロント不在時の日曜礼拝や諸々の対応はアシスタントミニスターの杉浦先生にお願いしていますので皆様よろしく願います（仏教入門講座は日本からオンラインで行います。）

ボランティアの皆様へ

寺院内外に問わず、トロント本願寺の護持発展に対して、ご尽力くださるすべての方々に感謝を申し上げます。 合掌



モミジでの定例法要の様子
(毎月第2木曜日14時～)

はじめまして、杉浦輝（すぎうらひかる）です。



このたび四月一日より約2年間、アシスタントミニスターとして活動することになりました。現在、二十七歳です。

出身は、京都で生まれ、そして愛知のお寺で育ちました。大学は、京都の龍谷大学出身で真宗学を学び、大学院では、龍谷大学大学院の実践真宗学研究科で法話の作り方を学びました。また、一年間、浄土真宗本願寺派勤式指導所に入所し、読経や作法などの儀礼を学びました。

元々、海外寺院について興味があり、大学生時代、YBCS（ユースツアー）のボランティアに参加させていただきました。そこで海外の方々と触れ合いより興味が出てきました。そんな中、今回貴重なご縁をいただき嬉しく思います。

私は、水泳やスノーボト、ボーリングなどを動かすことが好きです。また会話することが好きですが、英語のコミュニケーションはまだ不慣れです。しかし気にせずどんどん話しかけてくれたら嬉しいです。

これからお念仏申させていただく仲間として、楽しみましょう。

南無阿弥陀仏

トロント本願寺 アシスタントミニスター

杉浦 輝

祥月法要のお知らせ

祥月法要とは、祥月命日（故人が往生された月のご命日）をご縁として仏法に遇い、阿弥陀さまの仏徳を讃嘆し、報謝の思いでお勤めする法要です。

日時…五月四日（日）

六月一日（日）

（日本語…午前十時四十五分から）

（英語…午前十一時から）

場所…トロント本願寺

※英語法要のみオンラインでの配信
オンラインでの参拝を希望される方は、その旨を寺院事務所までお知らせください。
Zoom Link を送らせていただきます。

故人が祥月でない方もご参拝下さい。

※四月より日本語の時間を変更しました。

法要後には地下のソーシャルホールにてメンバー同士の交流を楽しんでいただければと思います。



佛心

降誕会法要・敬老会に寄せて



五月は、私たちにとつて、とても意味深い月です。まず、浄土真宗の宗祖・親鸞聖人のお誕生日（五月二十一日）をお祝いする「降誕会（ごうたんえ）法要」があります。

そして七十七歳・八十八歳・九十九歳・百歳以上を迎えられた方々をお祝いする「敬老会」も去年より私たちの寺院では気候が温暖な五月に行うようになりました。

現在のような「家族や友人に祝ってもらう個人の誕生日」は、十八・十九世紀のヨーロッパで一般化していったといわれています。

特にドイツでは「Kinder fest（子どもの誕生日会）」という行事が広まり、ろうそくを立てたケーキに願いを込めるスタイルが定着したようです。

今では「誕生日」を祝うことはごく自然な習慣となっていますが、実は日本においてもこのような文化が広まったのは比較的新しいことです。

日本では長い間、「数え年」といって正月を迎えるたびに全員が一斉に歳をとるという考え方が主流でした。そのため、「個人の誕生日を祝う」という習慣はあまり一般的ではなかった

二〇二五年五月号

浄土真宗 本願寺派

トロント本願寺

ようです。

この風習が変化してきたのは、明治時代になってから西洋の文化や価値観が取り入れられる中で、次第に「誕生日」に注目が集まり、戦後になってようやく広く一般に浸透していったと言われています。

私の誕生日は十二月三十日です。去年は餅つきが前日の二十九日に行われましたが、なかなか予定分の餅をつき終わることが出来ず、日をもたぎ、二十九歳の誕生日をお寺で迎えることになったのはいい思い出です。

また、学生の頃は毎回冬休みで友達に会う機会もなかったもので、学校で誕生日を祝ってもらえる友達をうらやましく思うこともありました。

誕生日というのは、「自分が主役になる日」と思われがちです。ですが仏教のまなざしに立つと、それは「いのちをいただいた日」、つまり数えきれないご縁の中で、生まれさせていただいた日として受けとめていきます。

自分の力で生まれてきた人はひとりもいません。親のいのちを受け継ぎ、多くの支えやはたらきの中で、いのちは生まれ、生かされてきました。だからこそ、仏教では誕生日を「おめでとう」と自分を祝う日ではなく、「ありがとう」と、いのちの源に手を合わせる日として大切に受けとめていきたいものです。

話を降誕会と敬老会に戻しましょう。親鸞聖人はそのご生涯を通して、遇い難き阿弥陀さまのお心を、私たちに伝え、教えてくださいました。お生まれになってから八百五十年以上の時

が流れ、今こうしてカナダ・トロントにいる私たちが、阿弥陀さまの願い、浄土真宗の教えに出遇えているということの背景には、どれほど多くの念仏者たちの歩みがあつたことでしょうか。

とりわけ、七十七歳・八十八歳・九十九歳・百歳を迎えられる方々は、今年八十周年を迎えるトロント本願寺の歴史を共に築き、支えてくださった方々です。

言い換えれば、このトロントの地に念仏の聲が響き続けているのは、皆さまの歩みそのもののおかげでもあるのです。

阿弥陀さまは、この私がまだ「助けてください」とも言えないうちから、はたらき続けてくださる仏さまです。自らの煩惱によつて、そのはたらきがどこまでも届かないようにみえる私のいのちに、必ず届いてくださる仏さまです。

その願いが「南無阿弥陀仏」となって、私たちに届き、その願いにふれて私の口を通して「南無阿弥陀仏」、報恩の思いで称える声となる。

このはたらきがあるからこそ、私たちは誕生日を「私のいのちが始まった日」ではなく、「数えきれないご縁の中で、生まれ、生かされ、導かれてきた日」として、静かに、深く、手を合わせて受けとめていくのだと思います。

親鸞聖人の誕生日も阿弥陀さまの願いが今もはたらいてくださっていると教えて下さる1つの仏縁と受け止めたいものです。

南無阿弥陀仏

トロント本願寺 駐在開教使 橋本顕正